

淡江大學日本語文學系・村上春樹研究室
2013 年度第 2 屆村上春樹國際學術研討會

08：20—08：45	報 到	【3樓鶯聲會議廳】
08：45—09：00	開 幕 式 致詞人：吳 錫德（淡江大學外國語文學院院長） 馬 耀輝（淡江大學副教授兼系主任） 口 譯：王 嘉臨（淡江大學助理教授）	【3樓鶯聲會議廳】
09：00—09：40	演 講 主持人：林 水福（南台科技大學教授） 講 者：小森 陽一（東京大學教授） 講 題：村上春樹文学における通過儀礼 口 譯：王 嘉臨（淡江大學助理教授）	
09：40—09：50	茶 敘 時 間	
09：50—10：45	第一場 論文發表 主持人：賴 錦雀（東吳大學教授兼院長）	
09：50—09：55	發表者①：落合 由治（淡江大學教授）	日文發表
09：55—10：15	題 目：村上春樹短編作品の文体的特長—近代小説からの脱構築— 口 譯：侯 元達（淡江大學碩士生）	
	發表者②：林 少華（中國海洋大學教授）	中文發表
10：15—10：35	題 目：莫言與村上：似與不似之間 口 譯：廖 育卿（淡江大學助理教授）	
10：35—10：45	討 論 時 間	
10：45—11：40	第二場 論文發表 主持人：陳 明姿（台灣大學教授兼系主任）	
10：45—10：50	發表者③：賴 錦雀（東吳大學教授）	日文發表
10：50—11：10	題 目：『風の歌を聴け』の中国語訳の解剖 口 譯：蔡 仰涵（東吳大學碩士生）	
11：10—11：30	發表者④：王 嘉臨（淡江大學助理教授）	日文發表
	題 目：村上春樹「螢」論—「我々」に着目して— 口 譯：趙 羽涵（淡江大學碩士生）	
11：30—11：50	發表者⑤：范 淑文（台灣大學教授）	日文發表
	題 目：『ノルウェイの森』の一考察—通過儀礼の問題をめぐって— 口 譯：郭 雅涵（淡江大學碩士生）	

11:50—12:05	討 論 時 間	
12:05—13:00	午 餐	
12:05—13:00	<p style="text-align: right;">【鷺聲大樓大廳】</p> <p>第三場 海報發表</p> <p>發表者①：劉 于涵（淡江大學碩士生） 題 目：『国境の南、太陽の西』における「現実」 —始が感じた「世界」の変動に伴って—</p> <p>發表者②：郭 雅涵（淡江大學碩士生） 題 目：『ねじまき鳥クロニクル』における「猫」の意味 —『ねじまき鳥と火曜日の女たち』と比較して—</p> <p>發表者③：趙 羽涵（淡江大學碩士生） 題 目：村上春樹「神の子どもたちはみな踊る」における「踊る」 の意味—善也の抱える人間の根源的な暗闇をめぐる—</p> <p>發表者④：謝 郁瑩（淡江大學碩士生） 題 目：村上春樹『風の歌を聴け』における分身関係 —「僕」と「鼠」の関係を中心に—</p> <p>發表者⑤：陳 鋼（淡江大學碩士生） 題 目：村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』における戦争の意味</p> <p>發表者⑥：王 雅辰（淡江大學碩士生） 題 目：『国境の南、太陽の西』における島本の実在性</p> <p>發表者⑦：侯 元達（淡江大學碩士生） 題 目：『国境の南、太陽の西』における音楽の役割 —「始」と「島本」の関係を中心に—</p> <p>發表者⑧：陳 偉鈞（淡江大學碩士生） 題 目：『国境の南、太陽の西』における「始」の精神の成長 —「イズミ」との関係を中心に—</p>	
13:00—13:55 13:00—13:05 13:05—13:25	<p>第四場 論文發表【3樓鷺聲會議廳】</p> <p>主持人：賴 振南 （輔仁大學教授兼系主任）</p> <p>發表者⑥：内田 康 日文發表 （淡江大學助理教授）</p> <p>題 目：村上春樹『羊をめぐる冒険』 論—回避される「通過儀礼」—</p> <p>口 譯：劉 德正（東吳大學碩士生）</p>	<p>第五場 論文發表 【T311 教室】</p> <p>主持人：落合 由治 （淡江大學教授）</p> <p>發表者⑧：吉田 妙子 日文發表 （政治大學教授）</p> <p>題 目：パン屋〔φ／再〕襲撃」と 「パン屋を襲う」—失敗した 通過儀礼と 70 年代の亡霊 からのメッセージ—</p>

<p>13：25—13：45</p> <p>13：45—13：55</p>	<p>発表者⑦：李 錦宰 日文発表 (南首爾大學校教授)</p> <p>題 目：村上春樹『羊をめぐる冒険』 —キリスト教との関連性を中 心として—</p> <p>口 譯：王 薇婷(廣島大學博士)</p> <p>討 論 時 間</p>	<p>発表者⑨：陳 美螢 中文発表 (政治大學博士生)</p> <p>題 目：人類学の観点から見た村 上春樹『ノルウェイの森』 における「通過儀式」</p> <p>討 論 時 間</p>
<p>13：55—14：50</p> <p>13：55—14：00</p> <p>14：00—14：20</p> <p>14：20—14：40</p> <p>14：40—14：50</p>	<p>第六場 論文発表 【3樓驚聲會議廳】</p> <p>主持人：曾 秋桂 (淡江大學教授)</p> <p>発表者⑩：楊 炳菁 日文発表 (北京外國語大學副教授)</p> <p>題 目：村上春樹文学における図書 館 —『海辺のカフカ』の甲 村記念図書館を中心に—</p> <p>口 譯：巫 文嘉(台視新聞翻譯)</p> <p>発表者⑪：廖 欽彬 日文発表 (中央研究院博士後研究員)</p> <p>題 目：文学創作における現実と非現 実—村上春樹の『海辺のカフ カ』から論ずる—</p> <p>口 譯：劉 于涵(淡江大學碩士生)</p> <p>討 論 時 間</p>	<p>第七場 論文発表 【T311 教室】</p> <p>主持人：楊 錦昌 (輔仁大學副教授)</p> <p>発表者⑫：王 佑心 日文発表 (銘傳大學助理教授)</p> <p>題 目：村上春樹『レキシントンの 幽霊』における死生世界の 往還</p> <p>発表者⑬：堀口 真利子 日文発表 (名古屋大學大學院博士生)</p> <p>題 目：村上春樹の文学における 女性表象—『貧乏な叔母さん の話』を中心に—</p> <p>討 論 時 間</p>
<p>14：50—15：05</p>	<p>茶 敘 時 間</p>	
<p>15：05—16：25</p> <p>15：05—15：10</p> <p>15：10—15：30</p>	<p>第八場 論文発表 【3樓驚聲會議廳】</p> <p>主持人：黃 翠娥 (輔仁大學教授)</p> <p>発表者⑭：山根 由美恵 日文発表 (広島国際大学非常勤講師)</p> <p>題 目：「服」という砦—「国境の南、 太陽の西」、「我らの時代のフォ ークロア—高度資本主義前史 —」における拒む女たち—</p> <p>口 譯：張 修齊(淡江大學學部生)</p>	<p>第九場 論文発表 【T311 教室】</p> <p>主持人：邱 若山 (靜宜大學副教授兼主任)</p> <p>発表者⑰：齋藤 正志 日文発表 (中國文化大學副教授)</p> <p>題 目：イニシエーションとして の創作行為—「蜂蜜パイ」と 「日々移動する腎臓のかた ちをした石」—</p>

15：30—15：50	發表者⑮：林 雪星 日文發表 (東吳大學副教授) 題 目：村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』における暴力と救い 口 譯：王 雅辰 (淡江大學碩士生)	發表者⑱：曾 秋桂 日文發表 (淡江大學教授) 題 目：通過儀礼として見る震災後連載作品『神の子どもたちはみな踊る』—トラウマと向き合う物語の装置—
15：50—16：10	發表者⑯：謝 惠貞 日文發表 (帝京科学大學非常勤講師) 題 目：通過儀礼としての「罪」と「罰」—『1Q84』を読み解く— 口 譯：謝 依矽(淡江大學碩士生)	發表者⑲：張 明敏 日文發表 (健行科技大學助理教授) 題 目：村上春樹の文学世界と神話—1995年以降の長編小説を中心に—
16：10—16：25	討論時間	討論時間
16：25—16：35	茶 敘 時 間	
16：35—17：20	【3樓驚聲會議廳】	
16：35—16：40	第十場 圓桌會議 主持人：彭 春陽 (淡江大學副教授兼主任) 主 題：村上春樹文学における通過儀礼 口 譯：李 文茹 (淡江大學助理教授)	
16：40—16：45	與談者①：小森 陽一 (日本東京大學教授)	
16：45—16：50	與談者②：李 錦宰 (韓國南首爾大學教授)	
16：50—16：55	與談者③：林 少華 (中國海洋大學教授)	
16：55—17：00	與談者④：賴 明珠 (台灣村上春樹專業翻譯家)	
17：00—17：30	討論時間	
17：30—17：40	【3樓驚聲會議廳】	
	閉 幕 式 主持人：彭 春陽 (淡江大學副教授兼主任)	
18：00—20：00	【福格大飯店 淡水區學府路 89 號】	
	懇 親 會	

主辦 淡江大學日本語文學系・村上春樹研究室

協辦 行政院國家科學委員會

協力 台灣日本語文學會・致良出版社・瑞蘭國際出版